

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～島根県立益田養護学校～

1. 活動の概要

令和7年6月11日（水）、益田市の島根県立益田養護学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。「地域の歴史と玉作り体験」というテーマで体験学習をしました。

最初に、講師が学校の近くの遺跡について紹介し、学校の周辺には集落の遺跡と、工業団地には石見焼・石州瓦の生産地（窯跡）があることを説明しました。また、高津川の下流には中小路遺跡があり、ここでは弥生時代の竪穴建物、また中世の掘立柱建物が見つかっていて、それぞれの建物の様子について学習しました。

つづいて、講師が益田市の古墳については、島根県内でも有数の大古墳があり、特にスクモ塚古墳は島根県でも一番大きな古墳であることを紹介しました。最後に、体験学習で製作する玉について、益田市内の遺跡で出土した土器と合わせて実物を見学しました。

後半は、場所を工作室に移して、やわらかい滑石を用いて勾玉を作る体験をしました。まず、長方形の滑石の角を落とし平面形を勾玉の形にします。つづいて角を落として丸く作りますが、この部分はコツがあるので、出来栄はそれぞれです。最後に紙やすりで削り落とした痕跡を丸めると、光沢がでてきて、玉らしくなってきます。

2時間半ばかりの体験授業でしたが、地元貴重な遺跡があることや、また古代の人々の苦勞や物づくりの工夫を知ってもらえたのではないかと思います。

2. 活動の様子



まずは座学。益田市の古墳を学びます



古墳時代の玉やイヤリング（ケースに入っている）、また土器を触ってみます。



玉作り体験…鉄のやすりで削りますが、丸みを出すのにコツがいります。

3. 子ども塾を終えて

① 生徒の皆さんから

- ・僕は勾玉をいろいろな形にしたり、磨いたりしたこと、昔の人が残した遺跡が（近くに）あることを知りました。すごく丸い形にできてすごいと思いました。
- ・勾玉以外にももっと体験がしたいと思いました。
- ・いろいろな大きさの勾玉を見たいです。

② 【学校の先生から】

- ・専門の方のお話を聞く機会は少ないので貴重な時間になりました。また機会があれば利用したいです。

③ 【埋文センターから】

- ・学校の周りに遺跡がある（学校の敷地の中にもある）ことを知っていただくと、遺跡や埋蔵文化財についても身近なものと感じていただけるのではないかと思います。
- ・勾玉づくり体験は、やはりだれでも、仕上げたいもの。そのためには独自の技術があったことを理解いただけたのではないのでしょうか。